

【第4面から続く】

車は日本人商工会議所、ジェトロの協力を得ながら、バンコクで年1回の商談会を実施している。FNA社と日本政策金融公庫の両者に共

通するのは、工業製品を購入したいという会社を連れてくる能力があること、ビジネスマッチングの専任者を置き、製造知識にも精通していることが挙げられるだろう。この二つの重

要な要素をもっているからこそ、FNA社と日本政策金融公庫主催の商談会は成約率も高く、本当に顧客に役立っているといえるのである。私もバンコック銀行では、本当にお客様

に役立つ機会の提供を目指している。残念ながらビジネスマッチングについては、我々の片手間仕事では十分なこととは出来ない。バンコック銀行日系企業部のお客様がFNA社な

らびに日本政策金融公庫の二つの商談会を積極的に利用して頂くことにより、当地において日系企業がますます繁栄していくことを私は切に希望している。

小澤 仁 (おざわ・ひとし)
バンコック銀行執行副頭取。1977年東海銀行入行。2003年より現職。米国在住10年。バンコク在住17年。趣味：クラシック歌唱、サックス・フルート演奏。

「ニュース屋台村」さまざまな分野の執筆陣が時代をナビゲート
www.newsyataimura.com/

コンサルタントの現場から

第33回

(株)ジェムコ日本経営 高橋 功吉

「コンサルタントの現場から」のコラムは、コンサルタントがコンサルティング等の現場で見聞きしたことの中から、参考になるのではないかと四方山話を綴ったものです。

マイナスからの出発

2011年にタイを襲った洪水から、早いものですでに4年が経つ。タイに赴任されている方の中には、すでにその時のことはご存じない方もあるのではないだろうか。先日、アユタヤにある企業様を訪問する機会があった。会社を設立されたのが、11年の4月。5月に設備を搬入し、量産に向けて立ち上げに取り組まれていたのだが、もうすぐ量産に入ろうかという直前に洪水の被害にあわれた。

洪水の時は、弊社のご支援先もそうであったが、どの企業も、水に備えて土嚢を積み上げられた。しかし、実際は、数十センチの高さに積みあげてみたところ、全く無意味という

事態だった。幸い、その企業様は、まだ量産に入っていないかつたことと、納品予定先も同様に洪水で沈んだことから、顧客への供給責任という点では問題はなかった。

洪水の時のドラマ 少し、話しが脱線するが、この洪水の時は、各企業でそれぞれのドラマがある。日本人が途方に暮れる中、ローカルの方の会社を守ろうとする姿、また復旧に向けたすごいパワーを感じられた方は多いのではないだろうか。経営数字や取引データの入ったパソコンやサーバーを兎に角避難させないといけないというところで必死に運び

出した後、水に浸かった後は、ボートや潜水夫を手配して、金型や治具を引き上げたり、また、物流手段を確保して搬出したりと、そのドラマは各企業の数だけある。また、筆者の知る中堅企業の中には、水が来る直前に、主要設備すべてを東部の地区に搬出することに成功した企業もある。その決断の早さと、そのタイミングでそれだけの物流手段を手配できたすばらしさに感服させられた。

多大の追加投資 ところで、この企業様は、はじめてタイに進出してこられたばかりであった。タイでの事情もわからない中で、採用したばかりのわずかな従業員という中では、どうしたらよいかもわからず、打つ手は全くない状態だった。お聞きすると、土嚢などは積んでみたものの全く意味が無く、後は兎に角、水が引くまで待つしか方法はなかったとのことだ。正直、初めてタイに赴任して日も浅い中で災害である。途方に暮れ

るのも無理からぬことだ。さらに、洪水によって、新たに設備投資も必要となるなど、立ち上げまでにさらに多大のお金がかかることになり、当初の目論見からすると大きなマイナなことになった。現在の状況をお聞きすると、新たな投資による償却負担が重く、利益はまだ赤字から脱出しきれていないとのこと。キャッシュフロー面では、プラスの月もあるが若干マイナスになる月もある状況で、厳しい中ではあるが、何とか経営は維持できているようだ。

赤字でもフリーキャッシュフローはプラスにできる 営業キャッシュフローは赤字でもプラス

にすることはできる。減価償却費は費用計上するが、実際にはお金が出ていかなければ、減価償却費分のお金は残ることになる。また、徹底して少ない在庫で回すように取り組むことで、赤字でも営業キャッシュフローはプラスにすることができ

るからだ。その上で、投資を抑えれば、フリーキャッシュフローはプラスを維持でき、借入金等の返済原資が確保できれば、経営としては持ちこたえられる。

<執筆者プロフィール>

高橋 功吉 (たかはし こうきち)
(株)ジェムコ日本経営 常務理事 グローバル事業担当



大手家電メーカーにて、海外経営責任者などの要職を歴任後、ジェムコ日本経営に入社。2007年執行役員、2011年取締役、2015年6月より現職。上場企業経営トップおよびボードメンバーへの顧問型経営支援をはじめ、グローバル戦略の構築から、製造現場の現場力向上、品質革新など、経営全般にわたり幅広く活躍している。実践に裏打ちされた「わかりやすい」コンサルティングが身上。「ものづくり経営入門」(日経BP)他、雑誌や媒体への執筆、講演も多い。

主な資格は、ICMC(国際公認経営コンサルティング協会)認定コンサルタント、公益社団法人全日本能率連盟認定マネジメントコンサルタント、経済産業大臣登録中小企業診断士

電子機器メーカー様 (2015年竣工) ナコンパトム県



自動車部品メーカー様 (2014年竣工) サムットプラカーン県



バルブメーカー様 (2013年竣工) チョンブリー県



タイでの工場建設・増築

お任せください!

タイでの工場建築・増築・設備に経験豊富な日本人が全力でサポート!

提案力かつローコストが強み! 工場内設備・電気設備も一括対応

設計・施工・メンテナンスも一貫して自社社員でフォロー!

タイでの工場建設・増築

お問合せはこちら Tel: 081-991-5078 (杉浦)
E-mail: sugiura.tcc@tcctecnica.co.th
TCC TECNICA CO.,LTD.
(本社パトナーニ・支拠点シーラチャ 日本人社員6名)
122 Moo.20 T.Klongnueng, A.Klongluang,Pathumthani 12120

人と環境創造

空気と水の

SANKEN-EMC Company Limited

ITF Tower 140/66, 28Floor Silom Road, Suriyawong Bangrak, Bangkok 10500
TEL : 0 2615 6100 FAX : 0 2615 6128-30
E-mail: info@sanken-emc.co.th www.sanken-emc.co.th

三建設備工業株式会社とタイ王国の実績豊富な上場ゼネコン EMC PUBLIC COMPANY LIMITED社の共同出資会社として建築工事・空調設備・衛生設備・電気設備・クリーンルーム設備などのプランニング設計・施工・保守・リニューアルなどの一体的なサービスを提供します。

「JAPANスタンダード&ローカルコスト」にてご提案します。